

# ゾーン別の景観形成方針と基準

## シンボルゾーン

### 玄関口にふさわしい景観を形成するゾーン（駅前ゾーン）

#### 目標と基本方針

宇部市の玄関口として、風格あるまちの顔となる景観の形成を目指すとともに、ひと・もの・ことが交流する賑わいあるまちなみの創出を目指します。

- 玄関口とは、さまざまなひと・もの・ことが交流する場であり、賑わいを感じられる景観を形成します
- 鉄道駅は、まちの玄関口であり、訪れた人にとって第一印象を与える場であることから、顔にふさわしい風格ある景観を形成します

#### 景観形成方針及び基準（建築物・工作物等）

##### 形態・意匠 ・色彩

- 駅前広場に面する建物においては、広場に面して開口部を設けたり、玄関口やテラスを設けるなど、建物の裏側を感じさせないよう配慮するとともに、玄関口としてのものでなしの印象を与える形態・意匠の工夫を行う。

- 道路に面する低層部（1～3階）においては、歩行者に賑わいを感じさせる景観の創出につながる意匠の工夫や演出に努める。

- 塔屋は、できる限り道路等の公共空間における歩行者の目線から見えないよう配置する。やむを得ない場合は建物の外壁等の意匠と一体的に考えるなど工夫を行う。また、屋上施設は目立たないよう配慮する。

- 色は、建物全体としては落ち着きと風格を感じさせる色を基調とし、周辺建物と調和を図るとともに、通りに面する低層部ではアクセントとなる色を効果的に使用するなど、変化や賑わいのある通り景観を形成するよう努める。

\*1 長大で単調な壁面を避け、開口部を設けたり、ショーウィンドウを設置するなど

\*2 外壁等と屋根について、マンセル基準値を参照

##### 位置

- 一体的なまとまりある玄関口の景観を形成するため、歩道を有する道路に面する建物の外壁等は隣接する建物等との連続性に配慮し、無用に後退しないように努める。やむを得ず、建物壁面を後退する場合には、有効に活用できる程度の空間を確保し、交流や憩いの場につながるような景観形成の工夫を行う。

\*3 ベンチを配置したり、オープンカフェ等に使用するなど憩いや賑わいの景観の創出に寄与する

##### 建築設備

- 配管設備等は道路等の公共空間に面する外壁に露出させない工夫することとし、やむを得ない場合には建物全体と調和するよう形態・意匠を工夫する。
- 高架水槽や冷却塔設備等はルーバー等で見えないよう修景措置を行ったり、公共空間から見えない位置に配置する。



● の項目は、勧告の対象となります

##### 素材

- 外壁に使用する素材は、周辺景観に調和し、長期間に渡り良好な景観が維持できる素材を選択するよう配慮する。

##### その他

- 建物に付属する駐車場はできる限り公共空間から見えにくい場所に配置するよう努める。やむを得ない場合には、緑化などを行い、閑散とした印象を和らげ、潤いある景観の形成への工夫を行う。
- 駐車場などの空地においては、道路からの見え方に配慮し、道路に面して設ける進入路を最小限とし、生け垣や緑化フェンスの設置や、敷地内での緑化ブロックの使用や樹木の植栽などによる緑の創出に努め、潤いある景観の形成への工夫を行う。
- 建物に付随する施設等については、公共空間から見えない位置に配置するか、またはルーバー等で見えないよう修景措置を行う。

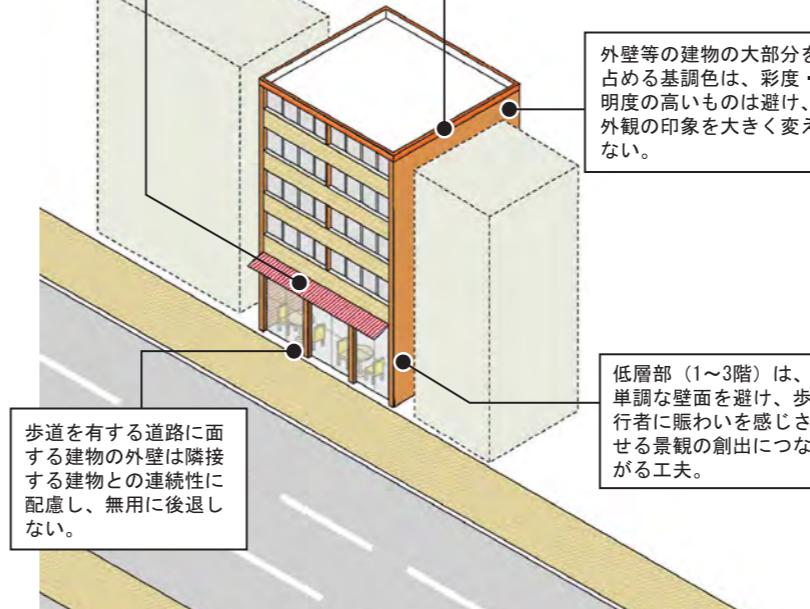
#### 対象地区

#### J R 宇部新川駅前地区

#### ▼イメージ～I～

アクセントカラーは少量の使用を基本とし、外観の印象を大きく変えない。

外壁の後退は避け、建物低層部の意匠を工夫し、賑わいを感じさせる玄関口として顔にふさわしい景観への配慮。外壁の基調色は落ち着いた色彩で、アクセントカラーを効果的に活用。



歩道を有する道路に面する建物の外壁は隣接する建物との連続性に配慮し、無用に後退しない。

屋根の色彩は、外壁等の基調色と調和する色。彩度・明度の高いものは避け、外観の印象を大きく変えない。

外壁等の建物の大部分を占める基調色は、彩度・明度の高いものは避け、外観の印象を大きく変えない。

低層部（1～3階）は、単調な壁面を避け、歩行者に賑わいを感じさせる景観の創出につながる工夫。

▼イメージ～II～ やむを得ず外壁の後退をする場合は、オープンカフェ等の交流や憩い場につながる工夫や修景を行い、歩行者に賑わいを感じさせる景観への配慮。外壁の基調色は落ち着いた色彩

屋根の色彩は、外壁等の基調色と調和する色。彩度・明度の高いものは避け、外観の印象を大きく変えない。

アクセントカラーは少量の使用。外観の印象を大きく変えない。

外観の色彩のうち、外壁など建物の大部分を占める部分の基調色は表のとおりとし、落ち着きと風格ある色で、隣接する建物や周囲の建物との調和を図る。

ベンチを配置したり、憩いや賑わい景観の創出に効果的に活用できる程度の空間を確保。



#### 色の基準（マンセル基準表）

#### D J R 宇部新川駅前地区

- 外観の色彩のうち、外壁などの建物の大部分を占める部分の基調色は、下の表D-①とし、隣接する建物や周囲の建物の外観との調和を図る。
- アクセントカラーは少量の使用を基本に、外観の印象を大きく変えないように配慮する。
- 屋根の色彩は、外壁の基調色と調和する色で下の表D-②とし、外観の印象を大きく変えないように配慮する。

表D-① 外壁等の基調色

色名	彩度	明度
赤(R系)	2.5R/5R→4以下 7.5R/10R→6以下	2.5R/7.5R→5~7 5R/10R→5以上
黄赤(YR系)	6以下	2.5YR→5~7 上記以外→5以上
黄(Y系)	4以下	5以上
上記以外	1以下	7以上

表D-② 屋根の基調色

色名	彩度	明度
赤(R系)	6以下	5以下
黄赤(YR系)	6以下	5以下
黄(Y系)	2以下	3以下
上記以外	2以下	3以上

